

様式第1号(第4条関係)

緊急通報システム機器貸与申請書

山県市長		様		年 月 日	
		住 所			
		申請者 氏 名			
		電 話			
山県市緊急通報システム事業実施要綱第4条の規定により、緊急通報システム機器を貸与されますよう申請します。 なお、申請にあたり、申請した情報及び知り得た情報等緊急通報システム事業の運用に必要な事項を、市、消防署、通報センター、民生委員、協力員が提供しあうことについて同意します。					
氏 名	男 女	生年月日	年 月 日	(歳)	
住 所					
電 話				血 液 型	型
住居の概要	1 持ち家 2 借家 3 公営住宅 4 民間アパート 5 その他()				
分 類	1 ひとり暮らしの高齢者(満65歳以上) 2 ねたきり老人を抱える65歳以上の高齢者世帯 3 ひとり暮らしの身体障害者 (身体障害者程度 等級1級、2級、3級) 4 その他()				
※ 受付印		※ 特 記 事 項			

(裏 面)

貸与を希望する機器

貸与機器	☐ 固定型機器、ペンダント送信機、火災警報器（無料） ☐ 携帯型機器（一部負担）
------	---

承 諾 事 項

1. 緊急時は、協力員・関係機関が住宅内に立ち入り、状況確認を行うこと。
2. 緊急時に協力員・関係機関が住居内に立ち入る際に、やむを得ず住居の一部に破損が生じたとしても、その責任は問わないこと。
3. 貸与のあった緊急通報機器一式は、適切に管理し、他の目的には使用しないこと。
また機器一式を破損、紛失等した場合は、速やかに市へ届け出の上、その損害を賠償すること。
4. 申請事項に変更が生じた場合は、速やかに市へ届け出ること。
5. 貸与のあった緊急通報機器一式を必要としなくなった場合は、市へ届け出の上、速やかに返却すること。
6. 緊急通報機器の利用にあたり一部負担金が生じる場合は、指定の期間内に支払うこと。
7. その他緊急通報機器の貸与について、市及び受託事業者から依頼があった場合は、それに同意すること。

緊急通報システム利用希望者調査票

調査 番号	項 目	内 容		
1	分 類	1 ひとり暮らしの高齢者 2 ねたきり老人を抱える 65歳以上の高齢者世帯 3 ひとり暮らしの身体障害者(級) 4 その他()		
2	ふりがな		性 別	男 ・ 女
	氏 名			
3	生 年 月 日	年 月 日		
4	住 所			
5	電 話			
6	言語の状態	1 正 常 2 少し不自由 3 不自由		
7	目 の 状 態	1 正 常 2 少し不自由 3 不自由		
8	耳 の 状 態	1 正 常 2 少し不自由 3 不自由		
9	ヘルパーの訪 問	有 (月に 回・ 週に 回) 無		
10	身体の状態	健康の度合い	1 健康 2 やや不健康 3 非常に具合が悪い	
		持病があれば記入		
		自力歩行	1 可能 2 少し困難 3 困難	
11	血 液 型	型 RH + -		

端末番号	地図番号	更新年月日

12	かかりつけ 病 院	病 院 名 カルテ番号 病名
13	病気・障害の 特 記 事 項	かかりつけ病 名 病 院 名 カルテ番号
14	医 療 保 険	1 国民健康保険 2 社会保険 3 後期高齢者医療保険 4 生活保護 5 その他
15	親戚等連絡先 1	氏 名 続 柄 住 所 電 話 携 帯 電 話
16	親戚等連絡先 2	氏 名 続 柄 住 所 電 話 携 帯 電 話
17	協 力 員 1	氏 名 住 所 電 話 利用者宅からの歩行距離 m(所要時間 分)
18	協 力 員 2	氏 名 住 所 電 話 利用者宅からの歩行距離 m(所要時間 分)
19	所 在 地	住宅地図(頁) 座標(ー)
20	備 考	

担当民生委員氏名

様式第3号(第5条関係)

協 力 員 受 諾 書

私は、下記の者の緊急通報システム協力員となることを受諾します。

緊急通報システム利用者氏名

年 月 日

山県市長 様

住 所

氏 名

協 力 員 受 諾 書

私は、下記の者の緊急通報システム協力員となることを受諾します。

緊急通報システム利用者氏名

年 月 日

山県市長 様

住 所

氏 名